



涌小通信

知内町立涌元小学校
～重点教育目標～
主体的・対話的に学び、
自らを磨き、高め合う子
令和2年1月31日発行

北海道の子どもは、北の大地を駆け巡る？ ～体力づくりの取組を通して、豊かな心とたくましい体を育成する～

校長 三上 幸喜

いよいよ明日から2月が始まりますが、記憶と記録にない雪不足で、当初予定していました湯ノ里小との「合同スキー学習」が延期となってしまいました。子どもたちは元気に体力づくりに取り組んでいます。

本州の方々には、「北海道は広い大地があり、豊かな自然の中でも子どもたちが伸び伸びと走り回って育っているのだらう！」というイメージをもっているようです。北海道は学力面では苦戦していますが、体力面では優れていると思いたいのですが、現実はそうでないことが明らかになっています。

＜資料1＞にありますように、肥満傾向児の出現率は小・中学校男女ともに、全国に比べて高くなっています。また、運動時間の少なさも報告されています。

北の大地は広々としているので、自動車で移動し、冬は雪が多く寒いので、屋内で暖かく過ごすためではないかと思われます。(冬場の運動量が低下します)

記録によりますと本校では、体力向上のために20年以上前からスポーツテストを実施し、平成11年以降からは新体力テスト8種目に取り組んで来ました。

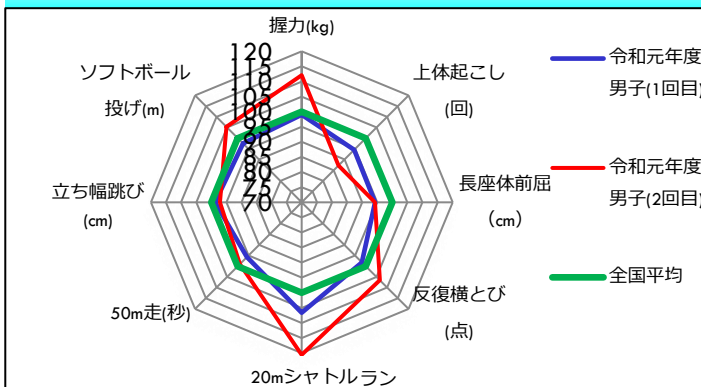
以下に、今年度の体力向上の取組の結果と分析をお知らせいたします。なお、グラフは、**全国平均値を100**とし、本校の各学年の数値を平均化し、全国平均値と比較しています。

＜資料1＞平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 北海道版調査報告 (道教委 HP より)

(2) 体格と肥満度に関する調査 【P12～13】

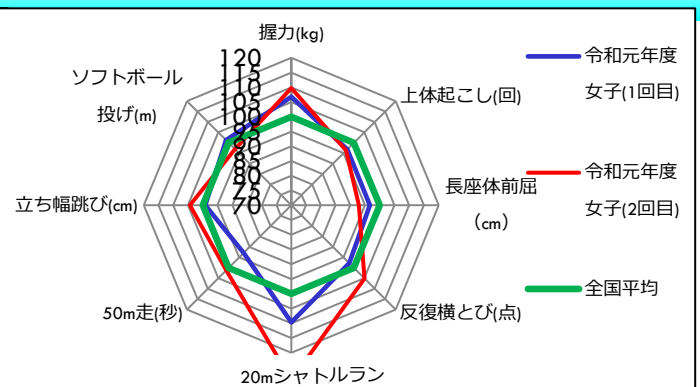
- ・肥満傾向児の出現率は、小・中学校の男女いずれも全国平均より高い。
- ・痩身傾向時の出現率は、小・中学校の女子で全国平均より高い。

＜令和元年度 全校男子の結果＞



男子は、昨年度全国平均を下回った、上体起こし、長座体前屈、50m走を今年度の課題種目として設定しました。シャトルランについては、前年度までの取組により改善され、ほぼ全ての学年で全国平均を上回りました！

＜令和元年度 全校女子の結果＞



女子は、昨年度に引き続き、全学年50m走を課題種目として設定しました。シャトルランについては、前年度までの取組により改善され、ほぼ全ての学年で全国平均を上回りました！

継続して取り組んだり、課題種目として取り組んだりした「シャトルラン」「反復横跳び」「50m走」の成果を確認することができました。「健全なる精神は健全なる肉体に宿る」と言われます。今後も、運動に親しみ、運動の楽しさを味わわせながらリアルな生活を豊かにし、豊かな心とたくましい体を育てていきます。